会費 500 円

メディアと民主主義

安倍のメディア支配にNOを！

４月９日（日）午後３時半～６時
練馬区役所地下多目的会議室

森友学園の国有地売却問題と安倍首相夫妻の関与は意外な展開をみせ、新たに愛媛県今治市で開設を目指す「加計学園」獣医学部の３７億円の公有地無償提供・補助金６４億円支払いという疑惑が急浮上。「たかがテレビ、されどテレビ」―テレビ報道の頑張りが求められています。安倍は１６年前のＮＨＫの［ＥＴＶ２００１］番組改ざん事件が起きた時の黒幕のひとり。以降安倍はメディアに露骨に干渉。このためメディアの委縮と自己規制が強まり、ＮＨＫ「クローズアップ現代＋」の韓国“少女像”問題やＭＸ（メトロポリタン）テレビの「ニュース女子」の沖縄基地反対運動に関する偏向報道などが起きています。

［ＮＨＫと政治権力―番組改変事件当事者の証言」を執筆した永田浩三さんと「安倍官邸とテレビ」を著した砂川浩慶さんに対談していただきます。

対談　永田浩三（武蔵大教授・元ＮＨＫ）ＶＳ 砂川浩慶（立教大教授・メディア総研所長）

永田浩三さん

１９５４年大阪生まれ。７７年ＮＨＫ入社。ドキュメンタリーと教養番組に携わり、ディレクターとしてＮＨＫスペシャル「社会主義の２０世紀」、プロデューサーとして「クローズアップ現代」「ＮＨＫスペシャル」「ＥＴＶ２００１」などを制作。その間、芸術祭賞、放送文化基金賞などを受賞。２００９年にＮＨＫ退社し、現在武蔵大学社会学部メディア社会学科教授。著書に「奄美の奇跡　若者たちの無血革命」、「ベンシャーンを追いかけて」「ＮＨＫと政治権力」「ヒロシマを伝える」など。

砂川浩慶さん

１９６３年沖縄・宮古島生まれ。８６年に民放連職員となり、放送制度、著作権、地上デジタル業務などを担当。２０１６年度より立教大学社会学部メディア社会学科教授。２０１０年にメディア総合研究所所長。研究を読み解く」テーマは放送を中心とした法制度、放送ジャーナリズム論。著書に「放送法（共著）、「安倍官邸とテレビ」。

主催：練馬・文化の会　協賛：メディア総研　放送を語る会　日本ジャーナリスト会議

連絡先：田場　洋和　電話（３９９１）９１６５